

1. 23年度5月入域観光客数実績および6月-8月見通しについて

	4月(実績)	5月(実績)	6月(見込)	7月(見込)	8月(見込)	4-8月計
23年度国内(空路)	601,700	564,200	570,000	650,000	750,000	3,135,900
23年度国内(海路)	1,400	11,100	7,000	6,000	1,000	26,500
23年度海外(空路)	60,300	63,400	65,000	70,000	70,000	328,700
23年度海外(海路)	6,500	6,600	8,000	34,000	29,000	84,100
23年度国内・海外合計	669,900	645,300	650,000	760,000	850,000	3,575,200
対22年度対比	163.8%	162.6%	144.9%	125.0%	132.6%	142.8%
対19年度国内対比	100.3%	101.6%	101.3%	99.3%	101.7%	100.8%
対19年度海外対比	26.7%	26.1%	24.5%	34.3%	35.0%	29.4%
対19年度国内・海外合計対比	78.7%	77.3%	74.9%	78.9%	83.2%	78.8%

※海路については沖縄の各港で予定されているクルーズ船が全て寄港した場合を想定して算出

国内入域については全国旅行支援やFIBAバスケットボールワールドカップ等の開催など、各種イベントの通常開催により、旅行需要は引き続き好調に推移すると見込まれる。

海外入域については、空路は運航再開している路線については予約が堅調に推移している。7月からは上海線が運航再開(1日1往復)するが、全体の運航便数はコロナ前の4割程度の水準に留まっている。

クルーズ入域に関しては、7月以降は、基隆や上海など海外発クルーズ船入港が多くなり、入域観光客数についてはコロナ前の3割弱の水準となる見通し。

また、ホテル宿泊単価については、県内各エリアともにコロナ前(19年度)を超える水準で推移している。特に離島や沖縄本島北部リゾートホテル単価の伸びが大きくなっている。

- ・6月 :【国内】(空路)全国旅行支援や航空各社のタイムセール等により、コロナ前とほぼ同水準の57.0万人(19年6月対比100.8%)と見込む。特に東京・大阪発沖縄線(離島含む)の需要が高い。ホテル予約率も離島地区リゾートや沖縄本島内リゾートを中心に高水準で推移し、宿泊単価も那覇地区シティホテルを除き、高水準となっている。
(海路)横浜港や神戸港から計4回入港予定。入域客数は0.7万人(19年6月対比166.7%)となる見通し。

【海外】(空路)台北線、香港線、仁川線およびバンコク線(定期チャーター便)ともに予約が堅調だが、国際線全体の運航便数はコロナ前には戻っておらず、空路入域客数は6.5万人(19年6月対比38.3%)となる見通し。
(海路)台湾(基隆)1回、韓国(浦項)1回、中国(上海)1回、計3回入港予定。
入域客数は0.8万人(19年6月対比6.2%)となる見通し。
- ・7月 :【国内】(空路)全国旅行支援効果や夏休み需要により、入域観光客数は65万人(19年7月対比99.4%)と見込む。
特に東京・大阪発沖縄線(離島直行便含む)の需要が高い。ホテル宿泊単価については沖縄本島および離島地区の宿泊単価が特に高くなっている。
(海路)横浜港から2回入港予定。入域客数は0.6万人(19年7月対比87.0%)となる見通し。

【海外】(空路)中国東方航空の上海線が運航再開(1日1往復)し、空路入域客数は7万人(19年7月対比40.2%)となる見通し。
(海路)台湾(基隆)8回、中国(青島)1回の計9回入港予定。入域客数は3.4万人(19年7月対比26.4%)となる見通し。
- ・8月 :【国内】(空路)夏休み需要やFIBAバスケットワールドカップ効果により、コロナ前とほぼ同水準の75万人(19年8月対比101.9%)と見込む。ホテル宿泊単価については、7月同様沖縄本島および離島地区の宿泊単価が特に高くなっている。
(海路)横浜港から1回入港予定。入域客数は0.1万人(19年8月対比41.7%)となる見通し。

【海外】(空路)バティックエアマレーシアが8月16日より台北経由クアラルンプール線を就航する予定(週4便)。
空路入域客数は7万人(19年8月対比46.7%)となる見通し。
(海路)台湾(基隆)6回、中国(上海)2回の計8回入港予定。入域客数は2.9万人(19年8月対比21.8%)となる見通し。

令和5年6月28日（水）

3年ぶり！「上海－那覇」国際定期便（直行便）の再開 ～那覇空港にて歓迎のお出迎えを実施します～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）は、2020年の運休以来、3年ぶりとなる中国本土（上海）と那覇を結ぶ国際定期便（直行便）運航再開を記念し、初便の到着に合わせて下地会長らによる空港でのお出迎えを下記の内容で実施いたします。

- ◆運航：中国東方航空
- ◆日時：令和5年7月1日（土）13：30 到着
- ◆場所：那覇空港 国際線ターミナルビル到着ロビー
- ◆内容：OCVB 会長、那覇観光キャンペーンレディ、花笠マハエによるお出迎え
歓迎の横断幕の提示、ノベルティの配布

中国東方航空 上海－那覇定期便の概要	
復便日	令和5年7月1日（土）
運航日	1日1往復 毎日運航
運航時間 （現地時刻）	（MU2085）上海 09：50 発 → 那覇 13：30 着 （MU2086）那覇 14：30 発 → 上海 15：55 着
機材	A321 型機
座席数	180 席（ビジネス 12 席・エコノミー168 席）

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
海外・MICE 事業部 海外プロモーション課
担当：北川・恩田
電話：098-859-6127 FAX：098-859-6221
E-mail：global_pr@ocvb.or.jp

令和5年6月28日（水）

首都圏からの観光誘客プロモーションの取り組み 「第20回新宿エイサーまつり」会場にて 沖縄の魅力を発信します！

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎）は、沖縄県より国内需要安定化事業を受託しており、沖縄観光の最重要マーケットとなる首都圏からの誘客強化に向けた誘致活動の一環で、東京都・新宿区で開催される「新宿エイサーまつり」会場にて沖縄観光プロモーションを実施します。

「新宿エイサーまつり」は、東京都 JR 新宿駅東口エリア一帯が沖縄色に染まる催事として 2001 年にスタートし、今年で 20 回目を迎える首都圏での大型沖縄イベントです。沖縄の伝統芸能であるエイサーをフックに、夏以降の本県への誘客に繋がる情報発信の好機と捉え、トップシーズンの誘客拡大に向けて旬の観光情報発信を行います。更に 8 月～9 月にかけて沖縄県内での開催が予定されている「FIBA バasketボールワールドカップ 2023」の認知度向上・機運醸成に向けて、大会及び観光情報の提供を行います。

- 催事名：第 20 回新宿エイサーまつり
- 日 時：2023 年 7 月 29 日（土）12:00～20:00（予定）
- 場 所：新宿駅東口エリア一帯/西口一部
- 公式 WEB サイト：<https://www.shinjuku-eisa.com/>

※今年度は 2019 年以來、4 年ぶりに夜の部 開催予定

※新宿エイサーまつりとは ※[新宿エイサー公式サイト](https://www.shinjuku-eisa.com/)より抜粋

新宿エイサー祭りは、今年で 20 周年を迎え、出演団体約 20 団体 1,000 名以上、観客数 100 万人を超える新宿で開催される夏の大型催事として定着しているイベントです。2001 年新宿の祭礼時に、活気のある踊りという事で沖縄のエイサーチームを招き、新宿の商店街の一部地域でエイサーが披露されたことをきっかけに翌年の 2002 年、4 商店街振興組合の各役員をメンバーとした新宿エイサーまつり実行委員会が発足、新宿東口全体で実施する「第 1 回新宿エイサーまつり」を 7 月の最終土曜日に行われ、その後も現在に至るまで、毎年 7 月の最終土曜日に開催されています。

※昨年度の様子（令和4年（2022年）第19回新宿エイサーまつり）



■エイサー団体派遣

沖縄伝統エイサーの認知度向上および本県の文化振興、旅行需要喚起促進を図るべく、県内の地域青年会を当催事に派遣します。今年は、首都圏を中心に市の魅力をPRするうるま市シティプロモーションを展開しているうるま市から屋慶名青年会を派遣し、きらびやかかつ威厳漂う屋慶名エイサーの演武を披露します。

なお、うるまシティプロモーションの一環として、8月20日（日）・21日（月）文京シビックホールにおいて、現代版組踊「肝高の阿麻和利」東京公演の開催が予定されており、新宿エイサーのみならず、夏の首都圏にて、より多くの皆様へ沖縄の伝統芸能に触れていただく機会を創出しています。

■その他連携した取り組み

・7月29日（土）に新宿区立新宿文化センターにて開催する沖縄音楽フェスティバルに関連して、パンフレット類を設置し情報発信予定

設置期間：7月1日（土）～7月31日（月）

設置場所：新宿区新宿文化センター（東京都新宿区新宿 6-14-1）

・FIBA バスケットボールワールドカップの機運醸成を図るプロモーションとして街頭フラッグを掲出予定。新宿エイサーまつり催までの10日間近く新宿通りを沖縄一色で染める。

掲出本数：58本（予定）

設置場所：新宿駅東口交差点～新宿二丁目交差点まで※全長約500M

掲載期間：7月18日（火）～29日（土）

【お問い合わせ先】（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 国内プロモーション課 担当：嘉数、森田、黒島
TEL:098-859-6125 Mail:kokunai_rosen@ocvb.or.jp

令和5年6月28日（水）

「沖縄 MICE 人材育成セミナー」受講者募集！

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、沖縄県から沖縄 MICE 受入強化等事業を受託し、MICE 専門人材の育成を目的に「沖縄 MICE 人材育成セミナー」を開催します。

OCVB 東京事務所に配置した MICE コーディネーターへの問い合わせ・営業対応件数は令和3年度の500件弱から令和4年度には1000件以上となり、MICE 市場における沖縄への関心度合いや需要回復が表れているところです。旅行会社等との商談会や招聘事業における質問や主催者ニーズもかなり具体化してきており、ビジネスチャンスが訪れていることを感じさせます。

こうした契機を確実に営業実績に繋げるために、県内事業者は「一般観光と異なる特別感・限定感の演出」「SDGsに資する MICE コンテンツの提案」など、高度化する要望に対応するためのスキルを身につけることが求められています。

本セミナーは MICE 産業の第一線で活躍する強力な講師陣を揃え、基礎クラスの講座では、M/I/C/E のセグメント毎のビジネス構造を学び、応用クラスでは国内外のトレンドや営業力強化につながる事例を紹介します。受講しやすいオンライン形式の座学と、他者の意見を聞きながら学ぶことができる集合型研修の2種類からなり、両方を受講することで、より具体的かつ実践的な知識が身につけやすくなっています。

本セミナーの周知ならびに当日の取材についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〈日程〉 ※太字は集合型研修

第1部 MICE ビジネス基礎クラス 7/12（水）・**7/20（木）**・9/28（木）

第2部 応用ビジネスクラス 12/8（金）・**1/17（水）**

〈参加費〉 無料

〈募集人数〉 40人

〈申込先〉 <https://onl.sc/4EFmJjj>

〈申込締切〉 基礎クラス 令和5年7月7日 応用クラス 令和5年12月1日

※締切期日前でも、定員に達し次第受付終了となります。

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE 事業部 MICE 推進課

担当：當山・山城

TEL:098-859-6130

FAX:098-859-6221

Mail:mice@ocvb.or.jp

研修参加費
無料
募集受講者 40名

沖縄MICE 人材育成セミナー



コロナ禍からのV字回復。契機を掴むMICE営業の極意！

この講座は、国内外でのMICE誘致・プロモーション活動の強化や受入体制整備を担うMICE専門の人材を育成することを目的に開催します。

今年度はコロナ禍からV字回復の兆しが著しいMICEビジネスを積極的に働きかけて獲得する人材と組織を支援するため「MICE営業の基礎から国内外のトレンドまでMICE営業の極意を学び契機を掴む営業力を強化する！」をメインテーマに、基礎講座・応用講座それぞれに第一線で活躍する強力な講師陣を揃えました。

コロナ禍からの反転攻勢に向けこの講座でMICE営業力を強化しましょう！



POINT 01

MICE基礎を学ぶ

～MICEの全体像を掴む・
セグメント毎のビジネス構造
を理解する～



POINT 02

課題解決型営業 スキルを向上！



POINT 03

MICEビジネスの最新 トレンドや先進事例が満載！



基礎編

申込締切 2023年7月7日 金

応用編

申込締切 2023年12月1日 金

※申込締切りに関しては、基礎編クラス／応用編クラスはそれぞれ定員に達し次第終了となります。

お問い合わせ

令和5年度 MICE受入体制強化等事業「MICE 人材育成事業」事務局
株式会社DMC沖縄内
mice.seminar2023@dmc-okinawa.co.jp TEL:098-943-6642

沖縄MICE人材育成セミナーについての
申し込みはこちらのQRコードから





第1部 MICEビジネス基礎クラス

第1回 7月12日(水) 13:30 - 15:00
オンライン開催

MICEの本質と全体像を掴む!

MICE産業に関する調査研究の第一人者。MICEビジネスに関する広い知見を持つ講師より、MICEの本質と全体像について学びます。

講師 岡村 篤 氏

株式会社野村総合研究所
社会システムコンサルティング部 産業インフラグループマネージャー
立教大学
観光学部 兼任講師
MPI Japan Chapter
会長

第2回 7月12日(水) 15:15 - 16:45
オンライン開催

「インセンティブ・ミーティング」獲得の極意!

バンクオブアメリカ・メリルリンチのイベントプランナーとして多くのコーポレートイベントを主催し、現在は独立したプランナーとしてコンサルも手掛ける講師から、インセンティブ・ミーティングのビジネス構造、主催者ニーズとトレンド、インスペクションの重要性等について解説いただきます。

講師 山本 牧子 氏

株式会社Finesse Hospitality Management
代表取締役
MPI Japan Chapter
名誉会長

第3回 7月20日(木) 13:30 - 16:30
集合型オンサイト開催: @沖縄産業支援センター

沖縄MICEブランドを使ってみよう!

MICE専門メディア「MICE Japan」、海外CVBの日本レップ、観光庁のMICE関連事業の推進等に関わった講師よりMICEブランドの意味と重要性を説きます。また、沖縄MICEブランドを活用したガンガラーの谷のプロモーション事例を紹介いたします。これらを踏まえ、沖縄MICEブランドを活用したセールス手法を体得するグループワークを体験いただきます。

講師 金田 翔吾 氏 PCMA
日韓代表理事

講師 高橋 巧 氏 株式会社南都
執行役員 ガンガラーの谷事業所長

第4回 9月28日(木) 13:30 - 15:00
オンライン開催

「学会・コンベンション」獲得の極意!

沖縄の会議運営会社(PCO)にて、永年にわたり国際コンベンションの運営に携わり、MICEビジネスに関する広い知見を持つ講師より、学会・コンベンションのビジネス構造や主催者ニーズとトレンドについて解説いただきます。

講師 ジョンソン 美枝 氏

株式会社沖縄コングレ
専務取締役
沖縄MICEネットワーク
幹事

第5回 9月28日(木) 15:15 - 16:45
オンライン開催

「Exhibition・Event」獲得の極意!

永年にわたり大型展示場とイベントホールの運営に携わる講師より、Exhibition・Eventのビジネス構造について解説をいただきます。また、展示会主催会社(PEO)の講師より、展示会・見本市の主催者ニーズとトレンドについて解説いただきます。

講師 押田 敏明 氏 株式会社幕張メッセ
事業部門 事業副部長

講師 倉石 剛治 氏 株式会社イノベント
執行役員 第1事業部長

MICE関連に興味ある方や事業の幅を広げたい方

ご参加お待ちしております!



第2部 応用ビジネスクラス

第6回 12月8日(金) 13:30 - 15:00
オンライン開催

先進事例から学ぶセールスの極意!

大型インセンティブ等の受入実績が豊富なホテルの先進的な取り組み事例や、多くのコーポレートMICEをコーディネートしてきた大手旅行会社の先進的な事例をご紹介いただき、MICEビジネスにおける課題解決型のセールス手法について学びます。

講師 鴻巣 崇則 氏 ヒルトン沖縄北谷リゾート
営業部 統括部長

講師 河原 孝之 氏 東武トップツアーズ
株式会社
沖縄支店 シニアプロデューサー

第7回 12月8日(金) 15:15 - 16:45
オンライン開催

MICEビジネスのトレンドを掴む!

IT企業によるMICEビジネスへの異業種参入の事例や、民間DMOの取り組み事例をご紹介いただき、MICEにおけるDX、サステナビリティ、地域連携等の可能性について学び、業界トレンドへの対応について考えます。

講師 小渡 晋治 氏 株式会社okicom
常務取締役

講師 藤井 宏章 氏 DMO丸の内
事務局長

第8回 1月17日(水) 13:30 - 16:30
集合型オンサイト開催: @くくる糸満

サステナブルMICEを考えてみよう!

フードマイレージ70%削減を実現した「サステナブルMICE」メニュー開発の事例紹介と、「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」活用方法の解説をいただきます。これらを踏まえ、サステナビリティに配慮したMICE商品についてアイデアを共有するグループワークを体験いただきます。

講師 山城 斉 氏 ロワジールホテル&
スパタワー那覇
沖縄地区統括総料理長

講師 岩村 俊平 氏 一般財団法人
沖縄県環境科学センター
業務部部長 兼 SDGs事業実行班長

注意 事項

※各回の開催時間は変動する可能性があります。変更が生じた際は、受講者へ事前にご連絡いたします。※募集人数に達し次第、受付を終了いたします。※オンライン講座の視聴方法は、事務局より受講者へ直接ご案内いたします。※オンライン講座では、受講者の顔が映る「ビデオオン」でのご参加をお願いしております。※第3回・第8回講座(ワークショップ)について、現時点では実会場実施を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により実施方式を変更することもございますので、予めご了承ください。詳細は、事務局より後日改めてご連絡いたします。※本講座では、録音、録画、画面キャプチャー等の複製行為はできません。※事務局にて記録用に録画いたします。

お問い合わせ

令和5年度 MICE受入体制強化等事業「MICE 人材育成事業」事務局(株式会社DMC沖縄内)
mice.seminar2023@dmc-okinawa.co.jp TEL:098-943-6642

基礎編 申込締切 2023年7月7日(金) 応用編 申込締切 2023年12月1日(金)

沖縄MICE人材育成セミナー
についての申し込みは
こちらのQRコードから



1. 第1回沖縄観光親善大使制度(仮称)検討委員会

日時: 令和5年6月28日(水)10:00~12:00

場所: 産業支援センター309会議室

(1) 議事の内容

- ① 委員会の概要と役割
- ② 沖縄観光親善大使ミス沖縄について
- ③ 新たな沖縄観光親善大使のあり方について
- ④ パブリックコメントアンケートについて

(2) 委員からの主なコメント

- ・大使を設置する目的を整理した方がよい。
- ・観光PRの中でどの部分を大使に担わせるのかをハッキリさせるべき。
- ・インバウンド誘致等、世界に目を向けたときにはミスという名称自体、トレンドから置いて行かれる。
- ・SDGsの観点からもミス〇〇に対する世界の目は厳しい。
- ・容姿ではなく、その人の資質を重視した観光PRの活用を検討すべき
- ・沖縄の様々な魅力に詳しい様々な人材の活用を検討してもよいのでは。
- ・沖縄の魅力は自然・文化・歴史・物産と様々。分野が多岐に渡るので3人ですべてが出来るかという視点もある。
- ・SNSの活用はYouTubeだけでなく、若年層にはインスタグラム及びTikTokの他、海外にはfacebookが効果的。
- ・リアルの大使、SNS等バーチャルを組み合わせで行うのも、良いと思う。

2. 今後の予定

1. 第2回検討委員会 8月中を予定
 - (1)パブリックコメントの結果について
 - (2)新たな沖縄観光親善大使制度(案)について
2. 第3回検討委員会 9月中を予定
 - (1)委員会からOCVBへの提言(案)について
3. OCVBへの提言について
検討委員会からOCVBへの提言を10月中を目途に取りまとめる予定